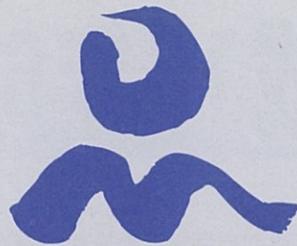


新風

しんぷう
Vol.27

がんばれ菊池！市民と共に郷土づくり

前川おさむ県政だより ※再生紙を使用しています。平成16年6月



Osamu Maekawa

前川おさむ後援会

事務所/〒861-1306 菊池市大琳寺198-1
TEL.0968-24-2171 FAX.0968-24-2855

E-mail:maekawa@mb.infobears.ne.jp

前川おさむ 県政報告会

六月一日、菊池市文化会館で県政報告会を開催いたしました。来賓として参議院熊本選挙区「木村ひとし」とさんと、全国比例区「松村よしふみ」さんに来ていただき、盛り上がった報告会になりました。

「松村よしふみ」さんは、「前川県議と十数年来の友人、同じ世代の若者として、全国商青連の会長として、日々の暮らしと政治をつなげて行きたい」とご挨拶。前川県議は、県政の課題と菊池市の問題について熱弁をふるい、参議院選挙の必勝のお願いをしました。当日ご来場いただいた皆様に、心より感謝申し上げます。



▲左より、参議院熊本選挙区「木村ひとし」さん、前川県議、参議院全国比例区「松村よしふみ」さん



前川おさむ県政報告会



▲参議院全国比例区「松村よしふみ」さん



▲参議院熊本選挙区「木村ひとし」さん

開かれた県政、正しい地方分権を目指して...

梅雨の候、皆様にはご健勝でお過ごしのこととお喜び申し上げます。昨年度は皆様のご支援により、副議長という重責を大過なく終える事ができました。その間、開かれた県議会を目指して本会議の「インターネット中継」「県からの便り」の県議会ニュース、また「県の主要計画を議会の審議事項とする条例」の制定など、議会の活性化のために取り組み、一定の成果を出すことができました。

今年度は、議会運営委員会委員長、廃棄物対策特別委員会委員長、党務の方では、自民党県連幹事長代理、という役割をいただいております。議運の委員長は、議会運営の責任者で、例えば本会議を始める時間まで、毎日決めなければなりません。廃対特別委員長は、私が提案してつくった特別委員会、菊池の問題や公共関与について審議しております。自民党県連幹事長代理は、選挙や党運営の要であり、現在、参議院議員選挙で大忙しであります。

さて六月定例会議で、自民党を代表して代表質問を行いました、2期目に臨

む潮谷県政の課題全般について論戦をしましたが、その中で菊池市産廃問題の解決のための県の方針が、知事より明らかにされました。この問題の解決で百点満点はないと思いますが、「あつては困るが、なくてはならない施設」という現状を踏まえ実現可能な方策を政治的に探ってきた私としては、今回一定の方向性を示し得た事を、大きな前進ととらえ、その実現に向けて努力してまいります。

また、永年の懸案でありました「菊池高校の改築」についても、創立百周年をむかえる平成二十年までに現地に改築することが決定しました。

県の財政は、平成十三年から「財政健全化計画」が進行中でありましたが、国の「三位一体の改革」が大きな打撃となり大変厳しい状況となっております。今後も地方議会の一員として、都会に暮らす人も、田舎に暮らす人も、同じ国民として、平等な暮らしを保障できる、正しい地方分権を目指して頑張っております。



▲平成16年6月定例会議代表質問(中面に詳細)



前川 収

前川おさむ後援会の第5回

おいでよ 夏祭り 2004 のご案内

- 日時→平成16年8月1日(日)
午後5:00開場 午後9:00終了予定
- 場所→前川後援会事務所前特設会場
菊池市大琳寺198-1 TEL.24-2171
- 主催/前川おさむ後援会夏祭り2004実行委員会

☆催し物(予定)
・カラオケ大会・ビンゴゲーム
・ラムネ、ビール早飲み大会
・お楽しみ抽選会 etc...

☆出店(予定)
・金魚すくい・ヨーヨーすくい・射的
・生ビール・かき氷・焼き鳥・焼きそば・おにぎり
・よもぎ団子・やまめ塩焼き etc...

みはさまのご参加お待ちしております。



前川おさむの活動についてご意見を、お寄せ下さい。

平成16年6月定例県議会代表質問

代表質問 質問要覧

今回は、自民党を代表する100分間の質問でありましたので、特に菊池市に関係の深い部分のみ掲載します。詳しくは熊本県ホームページ（www.pref.kumamoto.jp/）か事務所までお問い合わせください。

1 産業廃棄物管理型最終処分場

質問

菊池市から県に対し、菊池市の産廃最終処分場の新たな解決策として、協定では平成三十年までとなつてきている処分場の埋立を早期に終了し、この前倒し期間の補償を市が行い、平成三十年以降の補償は県が行う、補償の一部は、県の財政支援を要請するという案が提示された。この解決策に対する県の考え及び今後の対処方策を尋ねる。

答弁（知事）

県の考え方の大枠を示す。処分期間は協定期限より五年程度早期に終了し、これに伴い市が補償を行う場合、県は、市に対する財政上の負担を行う。負担は、操業短縮補償と平成三十年以降の補償と合わせた総額の二分の一とする。なお、平成三十年以降の補償は、公共用地の取得に伴う損失補償基準に示された営業廃止の際の保証の考えに準じ二年間とする。今後は、この考えをもとに三者で問題解決に取り組む。

2 県立菊池高校の改築

質問

県立菊池高校は、校舎、体育館が建設後四十年以上経過し老朽化が進み、教室棟には廊下、トイレ、洗面所がない等の機能上の問題もあり、改築が課題となっている。平成二十年には創立百周年を迎えるが、菊池高校の改築計画を問う。

答弁（教育長）

老朽化が進んでいる普通教室棟、管理棟、第一及び第二体育館、武道場、プールを建て替える。来年度に着工し、平成十九年度中に全事業を完了させ、創立百周年に当たる平成二十年の供用開始を目指す。

菊池市の産廃問題の解決について

菊池市の産廃管理型最終埋立処理施設（以下埋立施設）に、つきましてこれまでの経過と私の考え方についてご報告いたします。

平成十年、市と業者（立会人は県）の間で結ばれた、環境保全協定によつて埋立施設の営業期間は、平成三十年までとなつておりますが、業者は埋立施設の残余容量がすくないために、隣接する農地（農振地）において、埋立施設の拡張の準備を進めております。しかし農振除外ができない為に、新たに現在埋立を行っている施設にかさ上げ（十五mに達する部分もある）を行い容量を確保する計画を県に申請しております。

一方、県内の埋立施設は平成十七年度中に満杯になるという現状の中、県は「公共関与」の施設建設計画を進めておりますが、その施設が稼動するまで、用地確定後五年かかるというわけております。

私は、すでに環境アセスメントも進行している農地（現在、業者により仮登記済み）を、県に買い取らせ「公共関与」の施設を建設する事により、「より早く、より安全に」埋立施設を終わらせることができず、市、県、業者と協議を重ねてま

いりました。しかし「公共関与」の施設であれば、①施設内での排水処理が難しく、河川に放流しなければならぬ、②建設費が膨大になり、その資金回収のため早期終了が不可能である、③用地を買い取るためのハードルが高すぎる等々の理由で、厳しい状況になりました。

そこで、次の策として業者が計画しているかさ上げを最小限に抑え（安全確保が絶対条件）すでに埋立が終了している施設を、現在の基準でリニューアルする等を基本に「より早く、より安全に」埋立施設の終了を模索してまいりましたが、今回六月定例県議会の私の代表質問に答える形で、知事が県の考え方の大枠を示され（内容別添）これが可能になりました。

埋立施設以外の施設については、ごみ減量化、リサイクルの流れに沿うもので、業者だから反対とは言えないと考えております。

「より早く、より安全に」という産廃問題の解決の為に、市民の皆様のご理解が必要であり、この案が最後のチャンスという覚悟で取り組んでまいります。

前川 収

前川おさむ 東奔西走



▲自民党青年局街頭演説会ハルコ前にて



▲小泉総理らより激励を受ける 参議院全国比例区「松村よしふみ」と前川県議



▲第13回前川杯ゴルフ大会始球式 左より西岡史郎後援会会長、参議院熊本選挙区「木村ひとし」氏夫人、参議院全国比例区「松村よしふみ」さん、前川県議

行財政改革 来年2月までに新方針

県議会代表質問「秋ごろ骨格示す」

六月定例県議会は四〇〇五（平成十七）年二月二日、代表質問が始まり、月をめぐり、財政健全化計画に代わる、行財政改革の新たな方針を、前川氏は二期目の県政運営方針や副知事二人の導入について質問した。前川氏は「二期目の県政運営方針は、行財政改革の骨格を示す」と述べ、秋ごろに骨格を示す方針を示した。前川氏は「二期目の県政運営方針は、行財政改革の骨格を示す」と述べ、秋ごろに骨格を示す方針を示した。

▲熊本日日新聞6月5日付朝刊

